

令和7年度長岡市障害者生活実態調査について

1 調査目的

令和8年度の「第8期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 第4期障害児福祉計画（令和9年度～令和11年度）」の策定に向け、障害のある人の生活実態等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2 対象者数（見込）

- (1) 身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、児童通所受給者証所持者を対象とし、種別に応じた調査票により調査を行う。
- (2) 原則として手帳及び受給者証所持者の約38%にあたる3,000人を抽出して調査を行う。
- (3) 65歳以上の身体障害者手帳所持者は、例年同様10%抽出とし、そこからさらに約38%を抽出する。

<理由>介護保険の対象となる者が多く含まれているため（障害福祉サービスよりも介護保険サービスが優先される）例年10%抽出としている。なお、人数が多いため、抽出しても信頼性のある調査結果が得られる。

調査票	種別	所持者数 (見込)	対象者数 (見込)	備考
A	身体障害者（身体障害者手帳所持者のうち在宅の18歳以上65歳未満）	1,940人	740人	継続
B	知的障害者（療育手帳所持者のうち在宅の18歳以上65歳未満）	1,600人	610人	継続
C	精神障害者（精神障害者保健福祉手帳所持者のうち在宅の18歳以上65才未満）	2,070人	790人	継続
D	障害者施設入所者（県内）	280人	110人	継続
E	高齢者（手帳所持者のうち在宅の65歳以上）	1,330人	500人	継続
F	障害児（手帳所持者及び児童通所受給者証所持者のうち18歳未満）	660人	250人	継続
	計	7,880人	3,000人	

3 調査方法

調査票を郵送し、同封の返信用封筒（料金受取人払）により回収

※前回新たにLogoフォームからの回答も実施したが、回答率が低かったことに加え、集計等事務の効率化も踏まえ郵送のみに戻すこととする。

4 回収率見込

70%

5 調査票検討、集計、分析、報告書作成

長岡大学に業務を委託する。

6 実施スケジュール

時期	事項	内容等
令和7年5月	調査票の検討	調査票の内容について 関係各課へ意見聴取及び長岡大学と協議
6月下旬		調査票の内容について 協議会委員へ意見聴取
7月22日	令和7年度第1回長岡市障害者 施策推進協議会	協議会委員へ意見聴取
7月下旬	調査票の確定	協議会での意見聴取を反映 ※意見等がなければ協議会の段階で確定
9月頃	調査実施	調査期間は3週間程度
令和8年 3月23日	令和7年度第2回長岡市障害者 施策推進協議会	調査結果の報告

7 調査項目について（案）

(1) 障害者に対する調査について（A票、B票、C票、D票、E票）

A票、B票、C票については就労状況と就労意向、D票は地域生活移行に対する意向、E票は介護保険サービスの利用状況を明らかにすることを主として、別表に示す項目について調査する。

(2) 障害児に対する調査について（F票）

受けている教育（療育）段階に応じ、調査票を次の5つに分け、別表に示す項目について調査する。

- ・ F-1票 … 就学前の療育・教育
- ・ F-2票 … 小学校段階における教育
- ・ F-3票 … 中学校段階における教育
- ・ F-4票 … 高等学校段階における教育
- ・ F-5票 … 義務教育修了後、高等学校等に就学していない方

※詳しい項目は、別表「■調査項目概要」

■調査項目概要

A票～E票（A票：身体障害者、B票：知的障害者、C票：精神障害者、D票：施設入所者、E票：高齢者）

調査項目	調査内容及び活用方法	A, B, C (身・知・精)	D (施設入所)	E (高齢者)
基本属性	○本人の年代、障害・手帳の種類、住まい、同居者などの基本情報	○	○	○
生活の場について	○住まい・同居者についての希望、昼間の過ごし方や希望、昼間必要なサービス（施設入所者には、入退所の意向及びその理由、退所にあたり必要な環境・サービス等を調査） ⇒各種施設・サービスの整備の検討に活用	○	○	○
文化・スポーツについて	○文化・スポーツ活動の有無、頻度、意向 ⇒文化、スポーツ・レクリエーション振興策の検討に活用	○	○	○
就労について	○就労の有無、仕事内容、職業訓練系障害福祉サービスの利用の有無、就労に関する意向や困りごとなど就労状況や就労について感じていること ⇒就労支援策の検討に活用	○		○
介護保険サービスの利用について	○介護保険の要介護認定や介護保険サービスの利用状況 (現状把握のため調査)			○
入院・通院について	○入院・通院の有無、通院頻度 (現状把握のため調査)	○		○
外出について	○外出頻度、外出時の困りごと ⇒外出支援策の検討に活用	○	○	○
相談窓口について	○相談窓口の認知度、利用状況、利用しない理由 ⇒各種相談窓口の業務改善に活用	○	○	○
災害時について	○災害発生時の困りごと、心配ごと ⇒防災体制や災害発生時の支援策の検討に活用	○		○
情報入手について	○日常生活における情報の入手方法 ⇒広報手段の検討に活用	○	○	○
障害のある人への差別について	○差別解消法の認知度、差別されたと感じた場面や対応方法、差別解消のために必要と考えること ⇒差別解消のための施策・支援の検討に活用	○	○	○
社会生活について	○社会生活を営む上で必要な環境や支援 ⇒各種施策の検討に活用	○	○	○
	調査項目数	40・40・40	27	34

F-1票～F-5票（F-1：未就学、F-2：小学校段階、F-3：中学校段階、F-4：高等学校段階、F-5：義務教育修了後、高等学校等に就学していない）

調査項目	調査内容及び活用方法	F 1 (未就学)	F 2～F 4 (小中高生)	F 5 (義務教育修了)
基本属性	○本人の年齢、手帳の種類、住まい、同居者などの基本情報	○ (共通項目)		
文化・スポーツについて	○文化・スポーツ活動の有無、頻度、意向 ⇒文化、スポーツ・レクリエーション振興策の検討に活用			
相談窓口について	○相談窓口の認知度、利用状況、利用しない理由 ⇒各種相談窓口の業務改善に活用			
相談支援ファイル「すこやかファイル」について	○「すこやかファイル」の認知度 ⇒「すこやかファイル」の周知方法の検討に活用			
在宅福祉サービスについて	○在宅福祉サービスの利用の有無及びその理由、サービス充足度、サービス不足による困りごと ⇒在宅福祉サービスの整備・改善の検討に活用			
情報入手について	○日常生活における情報の入手方法 ⇒広報手段の検討に活用			
障害のある人への差別について	○差別解消法の認知度、差別されたと感じた場面や対応方法、差別解消のために必要と考えること ⇒差別解消のための施策・支援の検討に活用			
学校について	○現在・過去の在籍校（級）、通学・通級の経緯 ⇒就学に関する相談体制の改善に活用		○	
サービス利用について	○サービス利用状況及び利用意向、サービスに係る情報入手経路 ⇒各種サービスの整備及び周知方法の検討に活用	○	○	
就労について	○就労・通所の有無、普段の生活の場及び今後の意向 ⇒各種施設・サービスの整備の検討に活用			○
生活の場について	昼間の過ごし方や希望 ⇒各種施設・サービスの整備の検討に活用			○
外出について	○外出頻度、外出時の困りごと ⇒外出支援策の検討に活用			○
相談場所について	○日常生活における相談や支援に関する相談機関・団体 ⇒相談体制の改善に活用	○	○	○
保育園や幼稚園、認定子ども園の利用について	○保育園や幼稚園、認定子ども園の利用状況（現状把握のため調査）	○		
個別の教育支援計画及び指導計画について	○「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の有無、学校との話し合いの状況 ⇒学校における相談体制の改善に活用		○	
進学・進路先について	○進路先の意向及びその理由、進路に関する悩みの有無及びその理由、学校での指導に対する希望 ⇒就学・進学等に関する支援策の検討に活用	○	○	
調査項目数		33	39・40・40	29